

1 いじめの概要

(1) いじめの定義

児童に対して、当該児童が在籍する学校（※）に在籍している等当該児童と一定の人的関係にある他の児童が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童が心身の苦痛を感じているもの

(2) いじめの態様

< 動機によるいじめ >

- ・ 怒りや憎しみ
- ・ うつぶんばらし
- ・ 違和感から
- ・ おもしろ半分
- ・ 仲間に引き入れる
- ・ 性格的な偏りから
- ・ ゲーム感覚で
- ・ 関心を引くため

< 構成人数によるいじめ >

- ・ 単独による
- ・ 数名による（グループで）
- ・ 大勢による

< 手段によるいじめ >

○ 言葉によるいじめ

（冷やかしたからかい 悪口や脅し文句，いやなことを言う）

○ 仲間はずれ・集団による無視

（話しかけても相手になってもらえない）

○ 強要

（いやなことや恥ずかしいこと，危険なことをされたり，させられたりする）

○ 暴力

（軽くぶつかられたり，遊ぶふりをしてたたかれたり蹴られたりする。また，ひどく叩かれたり蹴られたりする）

○ たかい

（暴力を背景にしてお金や品物をとられたり，要求されたりする）

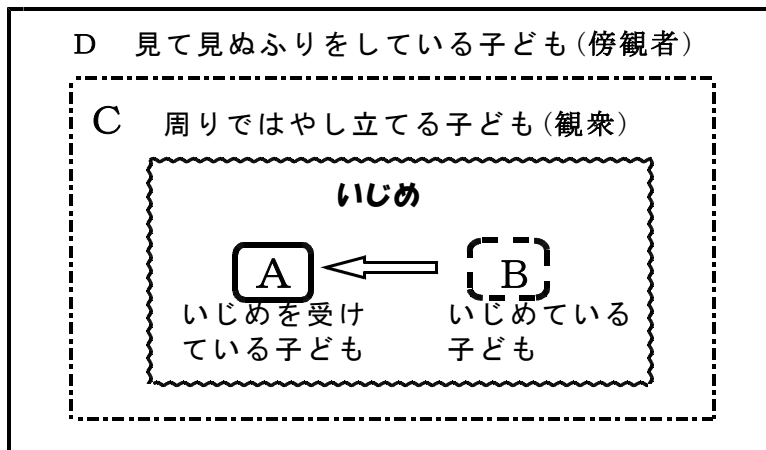
○ 金品隠し

（金品を隠されたり壊されたり捨てられたりする）

○ ネット上のいじめ

（パソコンや携帯電話等で，誹謗中傷をされたり，個人情報や画像等を掲載されたりする）

(3) いじめの構造



※ 教室全体に、『いじめをしない雰囲気』を形成し、『傍観者』の中からいじめを抑止する【仲裁者】が現れるような学級経営をめざす。

※ 観衆や傍観者の立ち場にいるCやDの子どもも、いじめを助長していることを認識する必要がある。

※ AとBの関係は、立場が逆転する場合があることも認識する必要がある。

2 学校で分かるいじめ発見チェックリスト

<いじめられている子どもの出すサイン>

場面等	観察の視点(特に、変化が見られる点)
朝の会	○ 遅刻・欠席が増える。 ○ 時刻ぎりぎりの登校が目立つ。 ○ 表情がさえず、うつむきかげん ○ 出席確認の際、声が小さい。
授業の開始時	○ 忘れ物が多くなる。 ○ 涙を流した気配が感じられる。 ○ 用具、机、椅子等が散乱している。 ○ 周囲が何となくざわついている。 ○ 一人だけ遅れて教室に入る。 ※ 席を替わられている。
授業中	※ 不真面目な態度で授業を受けている。 ○ 筆圧が弱くなる。 ※ ふざけた質問をする。 ○ 正しい答えを冷やかされる。 ※ テストを白紙で出す。 ○ ひどいあだ名で呼ばれている。 ○ 頭痛、腹痛などを頻繁に訴える。 ○ グループ分けで孤立しがちである。
休み時間	※ 大声で歌をよく歌っている。 ○ 一人でいることが多い。 ※ 仲良しではない者とトイレに行く。 ○ 用もないのに職員室等へ来る。 ○ わけもなく階段等を歩く。 ○ プロレスごっこで負けることが多い。 ○ 遊びの中で孤立しがちである。 ○ 集中してボールを当てられる。
給食時	○ 食べ物にいたずらされる。 ○ 好きなものを級友に譲る。 ○ グループ分けで孤立しがちである。 ○ 嫌われるメニューを多くもらえる。
清掃時	○ 目の前にごみを捨てられる。 ※ さぼることが多くなる。 ○ 最後まで一人です。 ※ 人のいやがる仕事を一人です。
放課後	○ 衣服が汚れている。 ※ 他の子どもの荷物を持って帰る。 ○ 顔にすり傷や鼻血の跡がある。 ○ 急いで一人で帰宅する。 ○ 用もないのに残っている日がある。 ○ 部活動に参加しなくなる。
その他の動作や表情	○ 視線を合わさない。 ○ 活気が無くおどおどした感じになる。 ○ 寂しそうな暗い表情をする。 ○ 教師と話するとき不安な表情になる。 ○ 手遊びなどが多くなる。 ○ 委員などを辞めたいと申し出る。 ○ 独り言を言う。 ※ 言葉遣いが荒れた感じになる。
持ち物や服装	○ 教科書にいたずら書きをされる。 ※ 高価な物を学校にもって来る。 ○ 持ち物、靴、あさなどを隠される。 ※ 人前に下着姿などで現れる。 ○ 刃物など危険なものを所持している。 ※ 異装、異髪をしてくる。
その他	○ 日記、作文、絵画などに気にかかる表現や描写が表れる。 ○ 教科書、教室の壁、掲示物などに落書きがある。 ○ 教材費、写真代などの提出が遅れる。 ○ 飼育動物や昆虫などに虐待行為をする。 ※ 校則違反や万引きなどの問題行動をとる。

※印・・・無理にさせられている可能性のあるもの

<早期指導を行う上での留意点>

- ① 教職員全体が協力して、共通実践を行うために、情報の共有化を図る。
- ② いじめている子どもの悩みを受け止め、親身になって話を聞き、支える。(秘密の保持とそれに適した相談場所の確保、日頃からの信頼関係づくりなど重要である)
- ③ いじめを解決する方法を一緒に考える。(話し合う)
- ④ 周囲の子供と一緒に、事実関係を把握する。
- ⑤ いじめた子どもに対しては毅然とした態度で指導する。(社会で許されない行為は学校でも許されない。)
- ⑥ 担任一人で抱え込まないで、他の教職員の協力を求める。
- ⑦ 校長、教頭へすぐに連絡する。(事実を正確に伝える。)
- ⑧ 関係の保護者に連絡をとり、十分な理解と協力を求める。